

5th ラウンド (1998.10.17)

「癌」「放射線」「産業廃棄物」・・・(田中氏)

ガンセンターの資料により、癌の地域特性・死亡率などの興味深いデータや癌の原因として、遺伝子レベル・染色体レベル（細胞のコピー異常）が指摘されました。また、放射線についての説明から、チェルノブイリ・医療被曝等の発表が行われました。

「少年法改正」・・・(ディスカッション)

少年法の教育と制裁という二面性についての説明から、家庭裁判所や検察官の役割、少年の要保護性（犯罪的危険性・矯正可能性・保護相当性）といった説明を加え、警察の捜査段階での冤罪の可能性、事実認定の対審構造化（検察官の関与）、犯罪少年に対する教育といった問題が提起され、議論が行われました。